

令和1年度の事業報告書

平成31年1月1日 から令和1年12月31日まで

特定非営利活動法人 まど

1 事業の成果

フリースクールは大分県のパンフレットにも掲載され、こども若者の次へつなげる窓口として機能している。また放課後等デイサービスは通信制高校のサテライトとしての機能も発揮し、高校卒業資格を取得する生徒も増え支援の方向の一つとして機能し始めた。メンタルフレンド制度また家庭教師事業を活かせる人材の教育が必要である。こまどぷらすの未来の子供応援基金事業は、利用者に適切な支援を届けられている事業として、大分県・中津市より社会資源としてしっかりと認知いただけた。来年度もしっかり認知度向上を目指し頑張っていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単 位：千円)
小・中学校で不登校状態の生徒が通え、付属学校の出席日数となるフリースクール運営事業	・相談窓口として機能した ・協議会への参加が増えた ・協議会での認知度が増え要望も増えた	(A) 随時 (B) 中津教室 (C) 2人	(D) 小・中学生 (E) 20人	20
通信制高校の資格を取得するサポートを行う事業	・精華学園高等学校の卒業資格取得のための学業サポートやスクーリング・試験・特別活動のサポートを行った(スクーリング、試験は学習センターである中津教室で行う)	(A) 平日9時～19時 (B) 豊前教室 (C) 1名	(D) 中学を卒業した者で高校卒業の意思があるもの (E) 8名	20
不登校や引きこもりを経験したスタッフがサポートするメンタルフレンド事業	・利用者が無く実施しなかった			0
児童福祉法に基づく児童発達支援及び放課後等デイサービス事業	・学校終了後の生徒の居場所作りと、障害を持つ子供たちやボーダーラインの子供たちの放課後教室を実施し、家庭のサポートを主とする活動を行った。	(A) 平日11時～17時、休校日10時～14時 (B) 豊前教室 (C) 11人	(D) 放課後1人になる生徒や放課後の生活に支障のある生徒 (E) 31人	11120
家庭教師事業	・利用者はいなかった			

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位: 千円)
不登校や引きこもりで 悩む親の会運営事業	希望者が無く実施しなかった		0
子供教育、社会教育、自 立支援、まちづくり、保 健、医療又は福祉の増 進に関わるイベント企 画事業	地域のイベント(中津祇園、と うろう祭り、楽一祭り、ラヴフ ァンタジア)に参加した。	(A) 7月中津祇園 8月とうろう祭り 10月楽市祭り、12月ラヴファン タジア (B) 中津市 (C) スタッフ全員	80
地域のよりどころ事業 (カフェ運営等)	本年度独立行政法人福祉医療 機構の助成金「こども未来心 援基金」にて無料学習支援・居 場所事業を開催。	(A) 火曜日から土曜日 毎月2回こ ども食堂もしくは夜カフェ (B) 中津市京町こまどプラス (C) 3人	3498
その他、この法人の目 的を達成するために 必要な事業	広報誌発行	(A) 毎月1回 (B) 中津事務所 (C) 2人	62
	ボランティア受け入れ	(A) 7月8月、12月、3月 (B) こまどぶらす (C) 3人	10

(備考) 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。

2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかつた場合、「実施しなかった」と記載する。